

令和3年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立谷戸小学校

●全国学力学習状況調査（小学校第6学年・中学校第3学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	中心となる語や文を要約する。	32.3	資料を用いた話し方に関する設問の正答率が高かったことから、「A話すこと・聞くこと」の領域に関する指導によって当該領域の能力が児童に身に付いていると考える。	「C読むこと」に関する設問の正答率が低い。本設問は要約に関する能力の定着を問う問題である。本課題の解決に向け、目的に応じて必要な言葉を抜き出したり言い換えたりする指導を反復的に行うこととする。
	漢字を文の中で正しく使う。	51.6		
	文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける。	43.5		
算数・数学	直角三角形の面積を求める式を書く。	51.6	棒グラフから分かる情報を読み取る、図形の面積について量の保存性や量の加法性を基に捉え比べる等の知識・技能を問う問題について高い正答率であったことから、知識を確実に定着させる指導ができていると考える。	領域D「データの活用」の設問への解答状況に課題が見られる。また、式の意味理解についても課題が見られる。これは、日々の学習において、自己の考えを表現させるだけでなく、他者の考えを解釈し、より良い解決過程を重視することや、図や式などの数学的表現を相互に関連付ける指導が必要だと考える。
	「114」は二次元の表のどこに入るかを選ぶ。	64.5		
	8人に4Lのジュースを等しく分けるときの一人分のジュースの量を求める式を答えを書く。	54.8		
	棒グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く。	53.2		